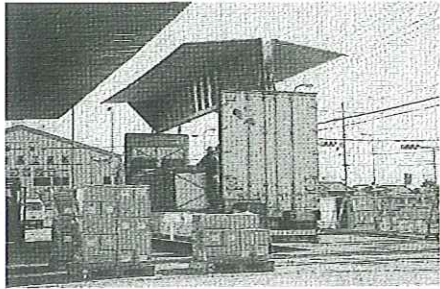


高齢者むけ引越し開拓

川端運輸



【奈良】川端運輸(川端運輸社長、奈良県大和郡山形町)は、高齢者向け引越しの市場開拓を進めて、営業基盤の強化を図っている。セーシー運輸(高岡浩社長、大阪府住之江区)が、独自に展開する「シルバー住むいび」おまひ時間課金制サービス「タイムレンタル住むいび」と、商標使用に関する契約を締結。8月からのスタートをメドに、ホームヘルパーの資格取得やスタッフの養成を進めていく。

川端運輸は大和郡など21両を保有し、食品や日用木材、一般雑貨をメインに近畿から関東、九州まで運行。これまで引越しは全く手掛けていなかったが、燃料価格が高騰しているにも関わらず、運費の低下に歯止めが掛からない現状を憂慮。新たな営業の柱として構築している中、高齢化社会での「シルバー住むいび」の高い可能性に着目して導入に踏み切った。

新たな市場開拓で雇用の維持も確保する。川端運輸の社長は、高齢者向け引越しの市場開拓を進めていく。セーシー運輸(高岡浩社長、大阪府住之江区)が、独自に展開する「シルバー住むいび」おまひ時間課金制サービス「タイムレンタル住むいび」と、商標使用に関する契約を締結。8月からのスタートをメドに、ホームヘルパーの資格取得やスタッフの養成を進めていく。

新たな営業の柱づくり

スタッフには、適性と本人の希望を踏まえてドライパー2人を採用したほか、女性1人も新規採用する。ホームヘルパーの資格は、女性スタッフにとどまらず、川端社長も取得を目指す。同社では、これまで安全衛生員事業所認定(GMM)とグリーン経営認証を得ているほか、現在、ドライパーマーク(PMA)にもチャレンジ。安全確保、環境保全という運送事業にとって重要な課題をクリアする上で、スキルアップや品質向上、他社との差別化につなげたい。

延べ17両でボランティア輸送



【大阪】「足」を持つ業界(面市)の今本連二社長は、4人の一員として、その特性を生かした支援をしている。「風呂」の大型プラスチック水桶3つを「浴槽」にし、2つの洗い場を備えたトラック。水道や現地近くの清流でくみ上げた水を、新品のドラム缶10缶で沸かし、ボンブで供給する。先月23日から1週間は、若手県野田村で出前風呂を実施。その後もメンバーを交代させながら要請のある村に移動し、継続した活動を展開している。

風呂トラックは、魚介類のいけすきに留意していた新品の大型プラスチック水桶3つを「浴槽」にし、2つの洗い場を備えたトラック。水道や現地近くの清流でくみ上げた水を、新品のドラム缶10缶で沸かし、ボンブで供給する。先月23日から1週間は、若手県野田村で出前風呂を実施。その後もメンバーを交代させながら要請のある村に移動し、継続した活動を展開している。

被災地へ大量輸送

富士山 大量輸送

【富士山】富士山トラック協会の輸送隊は12日、東日本大震災による被災地への先月末までの緊急輸送の物資輸送状況を会員事業所の被害状況を調査し、先月末までの緊急輸送は計画されていると話している。

被災地に義援

新下越支部村上下分

【新潟】新潟県トラック協会新下越支部の村上下分(板垣良芳分支部)は11日、新潟県村上下役所を訪ね、東日本大震災の被災地に対する義援金12万円を贈った。村上下協会(日本赤十字社)を通じ、復興資金として使用される。

巡回指導 400件めざす

新潟県トラック協会

【新潟】新潟県トラック協会の適正化事業委員会(山田博義委員長)は8日、今年度の事業計画案について検討した。巡回指導の目標件数は400事業所に設定する。

事故は信用

富山三尚運輸

【富山】三尚運輸(市村昇孝社長、富山県高岡市)は10日、安全研修会を開催し、市村社長が挨拶した。研修会では、市村社長が「事故は信用を失う」と語り、安全意識の向上を呼びかけた。

HP・ブログで社内活動P

【奈良】天理総合運輸(高山幸男社長、奈良県天理市)は、各層メディアや地元イベントを通じて企業活動をPRしている。HPとブログを活用し、社内活動の様子や製品情報を発信している。

安全

初任運転取得促進... 安全意識の向上... 研修会の開催...

被災地へ大量輸送

富士山 大量輸送... 義援金の手渡し... 復興資金として...